

この瞬間

2017年10月 増刊号

フローレンス富士の郷

90歳で大腿骨を骨折してから
再び自力で立てるようになるまで



T様

年齢：92歳

介護度：要介護4

認知症高齢者の

日常生活自立度：II b

転倒→骨折

夜間居室にて転倒し、左大腿骨骨折と診断されました。

人口骨頭挿入術による手術と2週間の入院を経て無事に退院できたものの、以前のように足を動かすことはできなくなり、車椅子での生活に……。

退院後～1ヶ月

歩行、立位ともに困難なため車椅子を導入。排泄・入浴は全介助に。主治医から、骨折した部分をできるだけ動かさないようにとの指示があったため、施設職員による声かけで安静を保つように支援。

退院後2ヶ月～

安静指示が解かれ、固定も外されると、自分で立ち上がろうとする動作が見られるようになります。立位不安定の中1人で立とうとするのですが、認知症もあり危険性についての理解は難しい様子。



担当者会議

こまめにT様の動向を観察・記録すると、比較的トイレに行きたい時に立ち上がろうとすることが多いことが分かりました。そこで、思い切ってトイレに誘導していくことをケアマネジャーに提案。

ケアマネを中心に関設、訪問介護、デイサービス、福祉用具と連携しチームとしてT様の支援の方向転換を行っていきます。

退院後3カ月～

担当者会議での話し合いを元に、各事業所がそれぞれの立場で支援を行います。

訪問介護

- ・排泄介助、入浴介助の移乗時、本人に少しずつ立ち上がり、方向転換を見守りがある中で行ってもらう。

通所介護

無理なく楽しむことを一番に、週1回外出支援を兼ねた利用から再開。

施設

- ・介護サービスの合間や夜間の排泄支援（声かけ・トイレ誘導）
- ・施設で行う毎日の体操やレクリエーションには、上半身の部分だけ参加してもらうよう声かけをする。
- ・車イスでも楽しんでできることを積極的に支援。
→塗り絵や他入居者様とのおしゃべり等
- ・口腔ケアを見守り一部介助にて自力で行ってもらう。



退院後4ヶ月～現在

退院から4カ月が経過する頃、歩行器を導入。歩行器になってからは、できることの幅も広がり、本人の意欲も向上。レクへの参加やテーブル拭き等のお手伝いを継続して行ってもらっています。

現在は排泄動作も失敗なくほぼ自立しています。



訪問介護のサービス提供時には、立位のみで洗濯物を干す作業を行う等、ヘルパーと一緒に無理なく日常生活機能の向上を目指しています。

機能訓練強化型
住宅型有料老人ホーム
フォーレンス富士の郷

0544-58-9605

静岡県富士宮市万野原新田4068-9

施設見学随時受付中

☆毎週土曜・日曜も施設見学会開催中☆

富士の郷の日常

